

# おきたま 社会教育情報

Vol. 158 令和5年11月号

## < 第14回山形県社会教育研究大会 >

11月16日(木)、鶴岡市の荘銀タクト鶴岡において、県内各地より440名(置賜からは68名)の参加者を迎え、標記大会が開催されました。例年より1か月遅い開催となりましたが、当日は見事な秋晴れで澄み渡った空気に青空が広がる、絶好の研修日和となりました。

開会行事・県社会教育連絡協議会表彰では、公民館部門で、南陽市沖郷公民館と長井市中央コミュニティセンターが、社会教育委員・社会教育関係職員部門で、小林繁治氏(南陽市)、巻坂恵美子氏(飯豊町)、大村亨夫氏(白鷹町)の3名が受賞されました。おめでとうございます。

続いてのアトラクションでは、地元鶴岡市立東栄小学校児童による「添川・東堀越 子ども獅子踊り」が披露され、会場を大いに盛り上げました。



受賞された皆さん



その後、3会場(荘銀タクト鶴岡、鶴岡アートフォーラム、鶴岡市役所)に分かれ、4つの分科会となりました。本地区からは、おぐにマルチワーク事業協同組合 事務局長 吉田悠斗氏(小国町)と南陽青年団 団長 小田朝暉氏(南陽市)より、大変貴重かつ示唆に富んだ事例についてご発表いただきました。ありがとうございました。

参加された方々を核として、今大会での学びが置賜各地に広がっていくことを期待したいと思います。

なお、次年度は村山地区のサハトベに花(河北町)を会場に予定されております。

## コンディショニングで心も体もリフレッシュ!!

### スポーツ少年団 置賜地区協議会 指導者・育成母集団研修会

11月5日(日)、小国町民総合体育館を会場に、標記研修会が行われました。本研修会は、それぞれの役割について認識を深めること、および指導者の資質向上と育成母集団の活性化を目的としています。一般社団法人 日本スポーツフェアネス推進機構 理事の池田めぐみ氏を講師に迎え、第1部は「YAMAGATA ATHLETE LAB.が目指すブカツとは」と題し、少子化の進行、部活動改革など子どもたちを取り巻く環境が大きな変革期を迎える中、指導者や保護者に求められるものについて、ご講演いただきました。

第2部は参加者みんなでコンディショニングを体験しました。日常生活をより快適に、という視点から正しい体の動きを教えていただきました。現に、肩こりが改善された方もいるとか。子どものパフォーマンスの向上にもつながると感じました。参加者からは「池田さんの実体験からくる想いが今の活動のいろいろな部分に感じ取られてよかった。部活動委託事業もよく理解できた。コンディショニングは普段している動きもあり、無理なく取り入れられそうなので、部活動で早速実践したい。」との声が聞かれました。

今後、子供たちの活動を支える指導者・育成母集団の方々が、積極的に研修の機会にご参加いただければと思います。



# Believe in “Kosodati” ～子育てを信じる～

11月2日（木）に長井市遊びと学びの交流館「くるんと」で、令和5年度読育推進ネットワーク研修会（兼）第2回置賜地区家庭教育支援フォーラムを開催しました。講師は、共育・読育アドバイザー／この本だいきの会庄内支部事務局長の本間 俊美先生です。「子育て5か条を解く」では、子どもを信じることの大切さや、子どもの育ちを心から信じ、必要な環境を整えつつ共に成長していくことを、「親育ち」と言うことを子育て5か条を基にお話いただきました。「読書の目的を解く」では読書への疑問について、法律を根拠に丁寧に答えていただき、読書は、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであることを絵本の読み聞かせを交えて講演いただきました。最後にミニワークショップを行い、参加者同士の交流の時間を設けました。



「絵本の持つ力や、絵本を活かした家庭教育、読育が人間力の成長につながることを改めて確認できました。」「子どもを信じるといった言葉が心に残りました。中身の深い本を発掘して、絵本と子どもたちをつなげられればと思いながら、明日からまた頑張りたいと思います。」「読育から家読への推進や、子育て5か条の先生のお考えを知ることができ、今後の子育て、家庭教育の話で参考にさせていただきます。」「などの感想が寄せられました。参加者の皆さんの今後の活動の幅が広がる研修会となりました。



## おきぼら地域クリエイター-crossover 地域活動実践 ～次世代の地域づくり中核人材育成事業～

10月29日（日）に、次世代の地域づくり中核人材育成事業「おきぼら地域クリエイター-crossover」の地域活動実践を、川西町こども食堂「なかよしキッチン」で実施しました。約3か月間、対面やオンラインでの会議を重ね、準備万端でこの日を迎えました。

当日は、子ども35名を含めた総勢86名の皆さんに参加いただき、高校生の企画を楽しんでもらいました。AグループのSDGsババぬきカードゲーム、Bグループのなぞとき迷路とも、子ども達に大好評でした。SDGsや川西町のことについて、ゲームや迷路を楽しみながら学んでもらうことができたようです。カレーや中華スープなどのおいしい昼食の後は、Aグループのビンゴ大会を行いました。ボードゲームやお菓子の詰め合わせといった豪華景品を手にした子ども達の笑顔が会場いっぱいにあふれました。参加した子ども達からは「なかよしキッチンはいつも楽しいけれど、今日はもっと楽しかったです。」といった感想が寄せられ、企画・運営に携わった高校生にとっても大満足の1日になりました。

今回のなかよしキッチンでの経験を通して、参画した高校生全員が今後も地域活動に携わりたいという思いを持ちました。高校生の地元を思う心が地域活動として形になることで、置賜がさらに魅力あふれる場所になることを期待しています。



SDGsババぬきカードゲーム



なぞとき迷路



→ コードを読み取っていただくと、山形県のHP上で本紙のデジタル版とバックナンバーがご覧いただけます。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 TEL 0238(88)8242】